

海の環境教育 実践者研修会



石見の海、私たちの海の持続性

2017年3月1日

しまね海洋館学習交流係 山口慶子

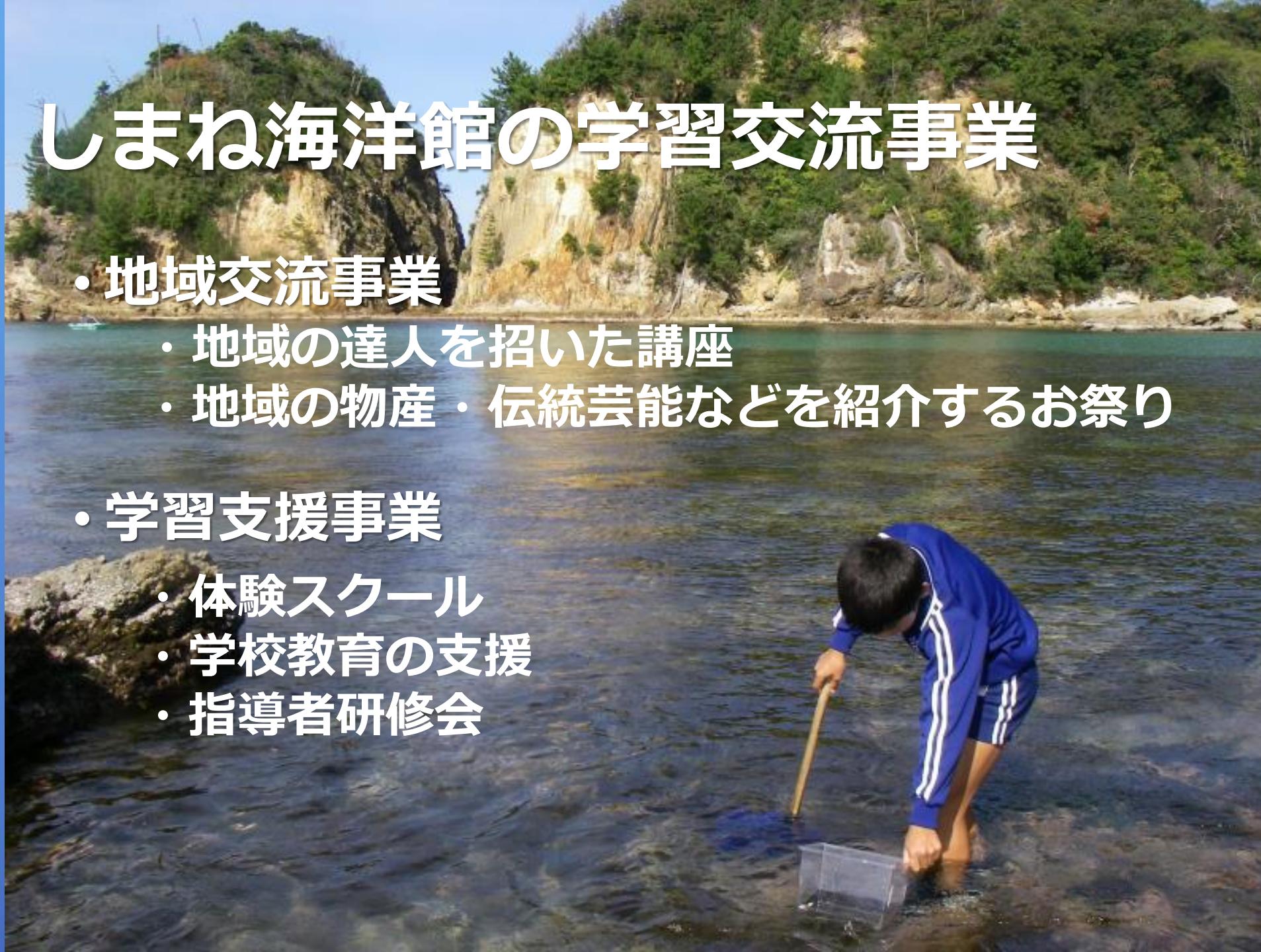
しまね海洋館の学習交流事業

- ・地域交流事業

- ・地域の達人を招いた講座
- ・地域の物産・伝統芸能などを紹介するお祭り

- ・学習支援事業

- ・体験スクール
- ・学校教育の支援
- ・指導者研修会



指導者研修会

- ・当館スタッフのスキルアップも含め、地域の環境教育の実践者をふやすとともに、実践者どうしのつながりをつくる
- ・実践していく場の確保

第3回研修会では「アクアスわくわくエコフェスタ」において実践できるような具体的なプログラム作りをし、翌週のフェスタにブース出展をして体験プログラムを実践した。

(対象；アクアス来館者 プログラム提供方法；立ち寄り型)



指導者研修会

課題

- ・ 実践数が増えていない
- ・ 繼続性のある実践の場の確保
→教員、社会教育施設職員など、実践の場のある人を
もっと巻き込むか？
- ・ 地域で行う環境教育において、とりあげられるべき地域の課題を
共通の認識として持つておくことが必要

浜田地域と世界の持続可能性を高める教育/地域づくり活動のご提案～アクアスを活用して～

アクアスと浜田の地域づくりの課題

乱開発や環境汚染等により日本および世界の海洋資源が減少している中、浜田漁港、江津漁港を拠点とした水産業を持続的に発展させたい。

少子高齢化、過疎化が進む中、生まれ育った地域に愛着と誇りを持ち、かつグローバルな視野を持って地域社会の持続的発展に参加、参画しつづける人を育てたい。

地元の学校での教育活動に、アクアスの持つ資源（施設、人、教育プログラム等）を活用してほしい。

海や水産資源の持続発展に寄与したい、寄与できる人を育てたいと考える人たちが、学んだことを社会で実践し、その輪を広げていくしくみがほしい。

提案内容

1. 提案事業名
海・川とともに生きるふるさとづくりプロジェクト
2. 目的
石見地域で海・川と地域の持続可能性を高めることができる人を育てる。
3. 対象
浜田・江津地域の教育関係者、環境保全関係者、水産関係者、NPO、アクアス
4. 提案のねらいと考え方
 - 学びと実践をつなぐ教材やプログラムづくりの基本を身につけた人を様々な現場に増やす。
 - 研修を受けた人が実践できるしくみをつくる。
 - 海や地域に関わる多様な人が出会い、未来について話し合う場をつくることで生まれる機運を大切にする。
5. 提案内容
 - ① 多様な人が参加する実行委員会を設ける。
 - ② 実行委員会の中のワーキングチームが中心となって、海を題材にした教育パッケージ「MARE」に学ぶ研修会を開催する。
 - ③ ②で学んだ参加者が実践するモデル授業づくりを支援する。
 - ④ ②の参加者の各実践を報告する機会を設ける。
 - ⑤ 振り返りと評価を行い、次年度につなげる。
6. 期待される効果
 - 多様な人たちが関わりあい情報交換する関係性が生まれる
 - 多様な人たちで、持続可能な地域づくりの共通のビジョンを描こうとする機運が生まれる。

ご協力いただける組織・団体

実行委員会/ワーキングチーム

構成メンバー

- ・ 浜田市市民生活部環境課
- ・ 浜田市教育委員会
- ・ 江津市市民生活課
- ・ 江津市教育委員会
- ・ 江津市立郷田小学校
- ・ 県教委浜田教育事務所
- ・ 島根大学大学院教育研究科
- ・ 島根県水産技術センター
- ・ エコサポしまね
- ・ NPO 法人コアラッチ
- ・ 認定 NPO 法人自然再生センター

実行委員会以外の協力者

- ・ 海の自然史研究所（MARE）
- ・ 地元の小学校

事務局

- ・ EPO ちゅうごく
- ・ アクアス（学習交流係）

① 2016年9月初旬
第1回実行委員会
開催（計画作成）

10月～11月
ワーキングチーム
で研修会の準備

②2017年1月中旬
「MARE に学ぶふる
さと学習の進め方」
研修会開催

③1月
モデル授業の実践
(見学)

④2月
実践報告会

⑤2月
第2回実行委員会
開催(振り返りと評
価)



ワーキンググループ参加メンバー

- ・しまね海洋館アクアス
 - ・浜田市市民生活部環境課
 - ・しまね自然と環境財団 エコサポしまね
 - ・島根県水産技術センター
-
- ・海の自然史研究所
 - ・EPOちゅうごく



研修会参加者の属性

- ・自然系博物館
- ・建設会社
- ・市町村環境課
- ・環境保全市民団体
- ・地元ケーブルテレビ
- ・アクアススタッフ（教育事業担当者、飼育スタッフ）
- ・県水産技術センター
- ・地域ボランティア
- ・教員
- ・学生

研修第1日目（1月14日土曜日）

- 10:00 スタート、オリエンテーション
スライドショー「石見の自然」
プログラムオリエンテーション（目標、日程、心構えなど）
- 10:30 はじめまして！よろしく！
- 11:00 ESDの視点で考える「持続可能な石見の海」
- 13:20 「この先、海です」体験とお話
- 19:00 海の環境教育プログラムの作り方
1日目のセッション終了

| 目標 | 日程 | | | |
|------|--------------------------------|-----------------------------------|--------------------------|---------------|
| 理解する | セッション1 はじめまして！ よろしく！ | セッション4 海の環境学習プログラム の作り方 | セッション5 ふりかえり わかちあい | ルがまえ |
| 創造する | セッション2 ESDの視点で考える 持続可能な海 | セッション3 石見の海に関する 学習プログラムを作ろう | 2月の研修へ 続く！ | 主体的に かかわる |
| つなげる | セッション3 「この先海です！」 体験をおはなし | セッション6 学習プログラムの 完成に向けて | | お互いから 学び合う |

ルがまえ

主体的に
かかわる

お互いから
学び合う

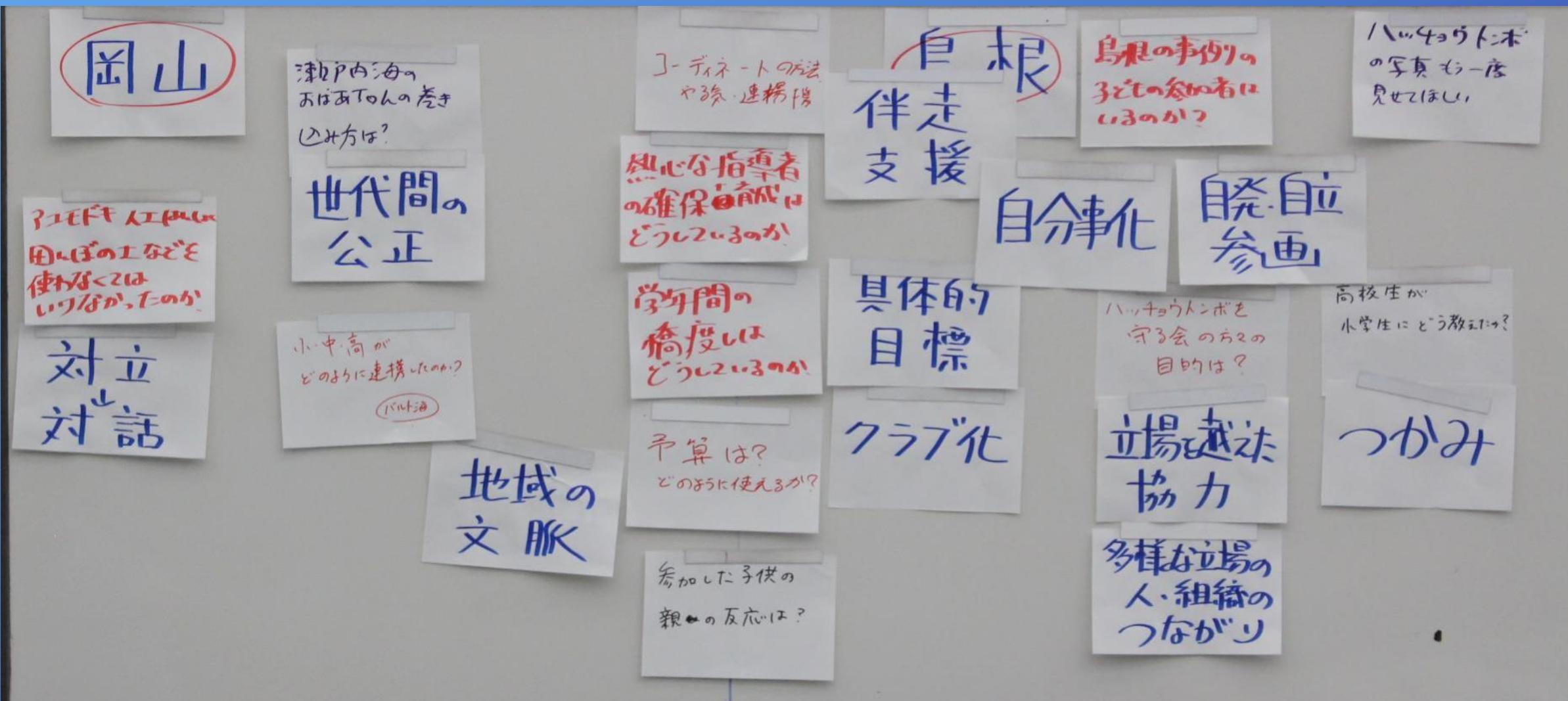
遊びルを
忘れない



研修第1日目（1月14日土曜日）

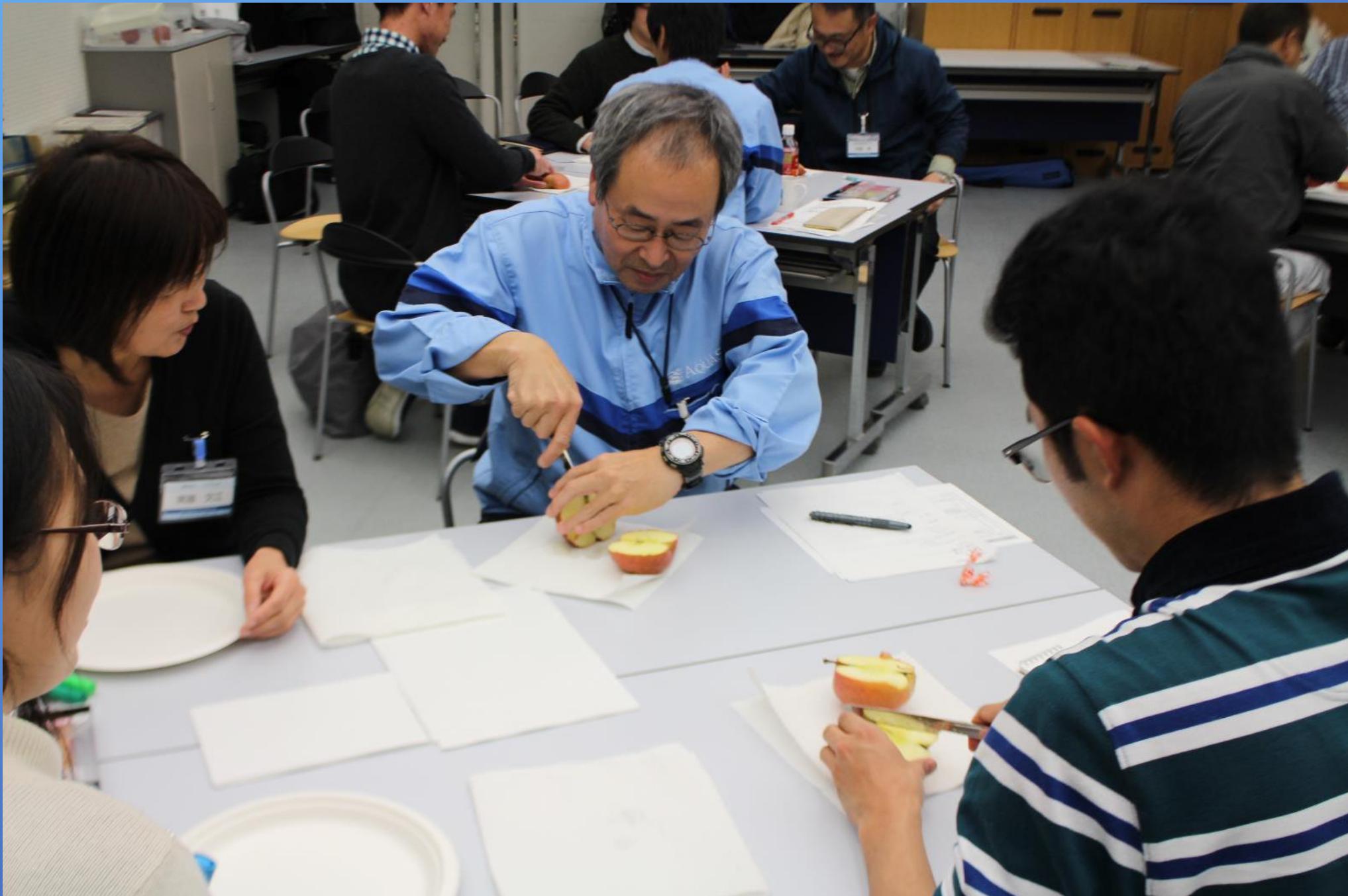
- 10:00 スタート、オリエンテーション
スライドショー「石見の自然」
プログラムオリエンテーション（目標、日程、心構えなど）
- 10:30 はじめまして！よろしく！
- 11:00 ESDの視点で考える「持続可能な石見の海」
- 13:20 「この先、海です」体験とお話
- 19:00 海の環境教育プログラムの作り方
1日目のセッション終了

研修第1日目（1月14日土曜日）



研修第1日目（1月14日土曜日）

- 10:00 スタート、オリエンテーション
スライドショー「石見の自然」
プログラムオリエンテーション（目標、日程、心構えなど）
- 10:30 はじめまして！よろしく！
- 11:00 ESDの視点で考える「持続可能な石見の海」
- 13:20 「この先、海です」体験とお話
- 19:00 海の環境教育プログラムの作り方
1日目のセッション終了



研修第1日目（1月14日土曜日）

- 10:00 スタート、オリエンテーション
　　スライドショー「石見の自然」
　　プログラムオリエンテーション（目標、日程、心構えなど）
- 10:30 はじめまして！よろしく！
- 11:00 ESDの視点で考える「持続可能な石見の海」
- 13:20 「この先、海です」体験とお話
- 19:00 海の環境教育プログラムの作り方
1日目のセッション終了

…夜の時間ももちろんあります・・・



研修第2日目（1月15日日曜日）

- 9:00 石見の海に関する学習プログラムを作ろう

石見の海が抱える問題を話し合い、中心的問題の絞り込み

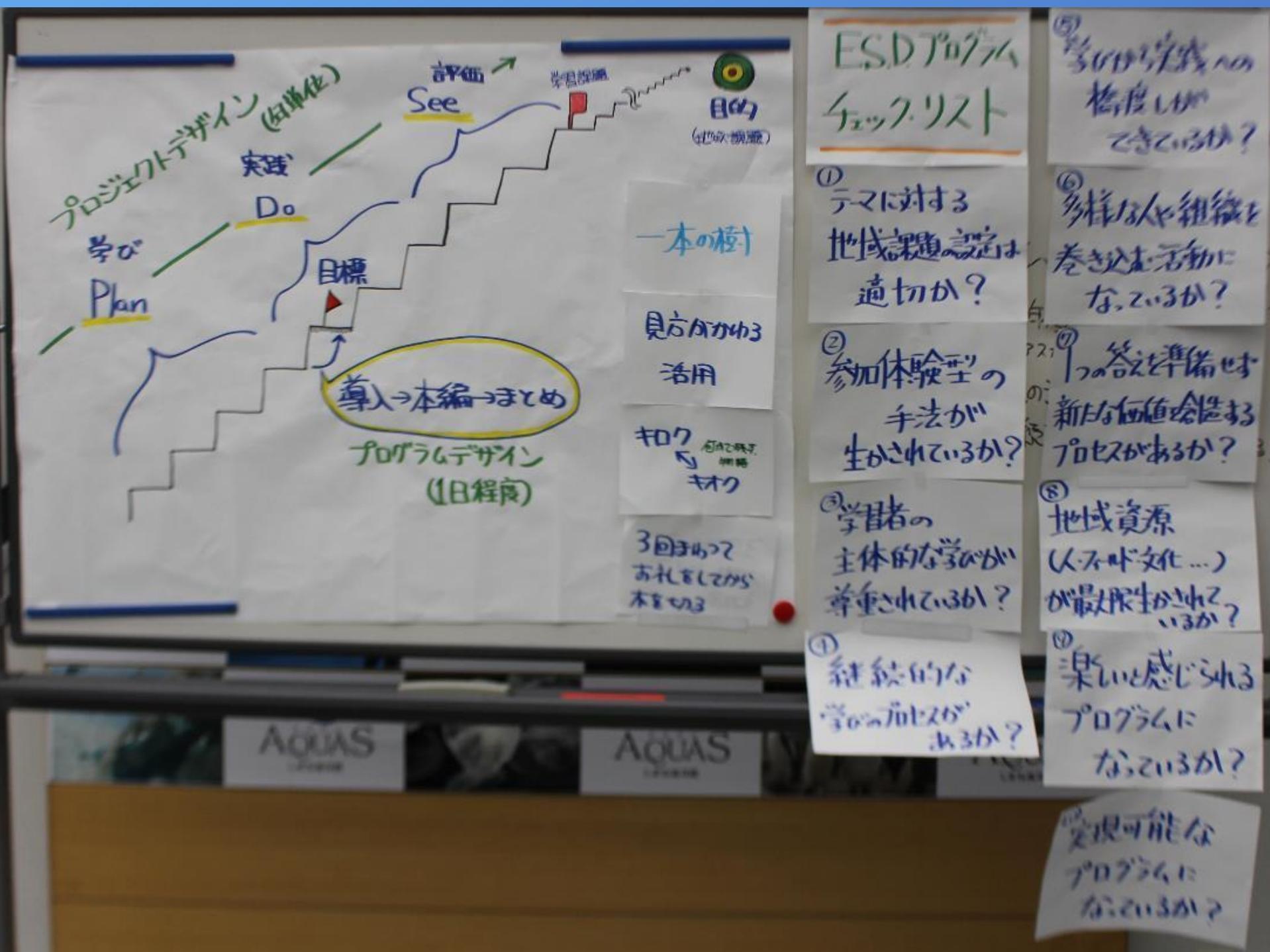
学習課題の設定

プログラムデザイン、プロジェクトデザイン

各グループのプレゼン

- 15:00 今後の進め方について

2日目のセッション終了



企画の手順

Step1
与件の確認
(5分)

“△△△
アラリマタク”

Step2
問題把握
70(75分)

10:25まで

Step3
学習課題設定
(30分)

抽出
統合

Step4
プロジクト企画
(120分)

開所
11:30 ~ 12:00

Step5
企画発表と
自己4ヶ月
(60分)

14:00
スタート!

13:45まで
ワクシナ提出

Listen(聞く)
Open(開く)
Voice(声出す)
Enjoy(樂む)

石見へん
～2015年～

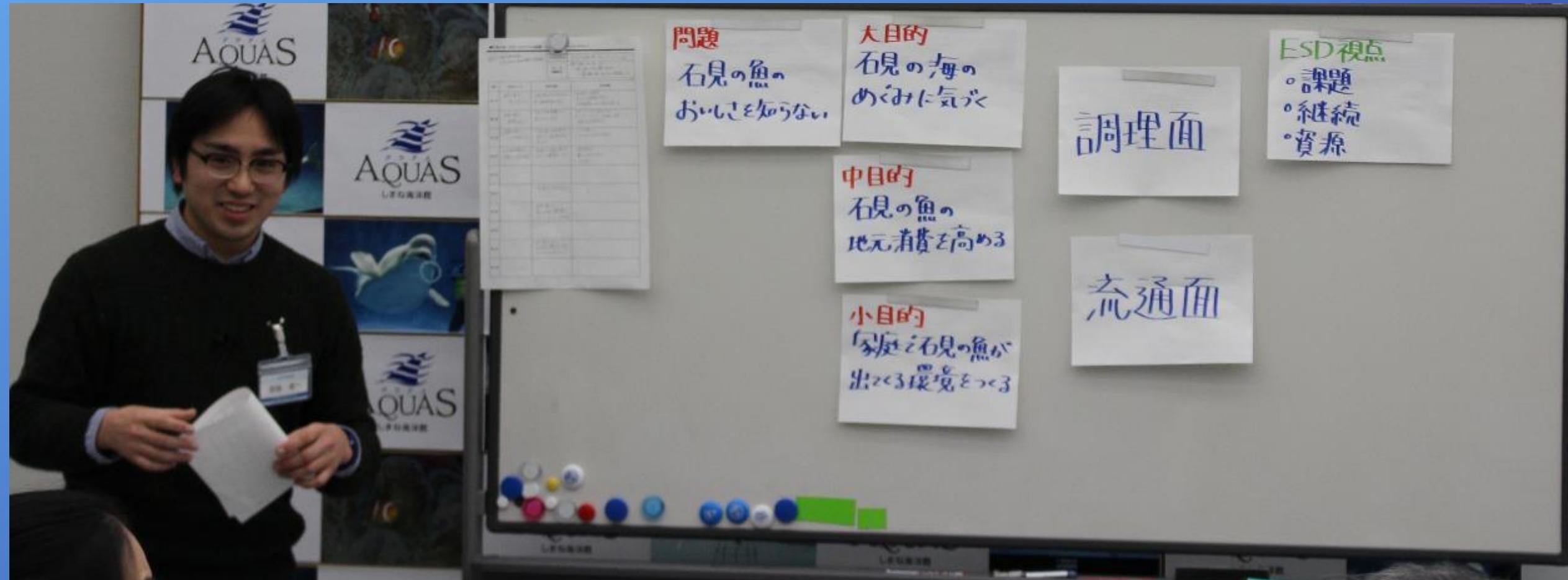


研修第3日目（2月12日日曜日）

- 10:00 石見の海に関する学習プログラムを作ろう
(プロジェクトデザイン)
各グループのプレゼン
- 14:30 各グループの発表と企画練り直し
- 15:30 今後の取り組みについて

3日間のセッション終了

研修第3日目 (2月12日日曜日)



■石見の海・ESDプログラム企画書 その2：プロジェクトデザイン

(協力) 水産高校の生徒
お店(市内の魚料理店や魚市場)

| | |
|--------------|---|
| プロジェクト名 | みんなで石見の魚を食べたいな~る!! |
| 目的 (課題設定) | 石見の海のめぐみに気づく → 石見の魚の地元消費を高める → (会)家庭で石見の魚が出てくる環境をつくる。 |

| 回数 | 各回のテーマ | 各回の目標 | 各回の概要 |
|-----|---------------------|--------------------------------|---|
| 第1回 | 石見の魚と 食べよう!! | 石見の魚のおいしさに気づく 魚の調理方法を学ぶ | 魚市場でお買い物 みんなで調理して食べる 次回調査に行き場所を考える |
| 第2回 | 石見の魚と 調べよう!! | 石見ごとなる魚種や 食べ方を知る | グループごとで調べに行く (スーー、アワス、おさかな、絶食...) 発表する(実作り) |
| 第3回 | 石見の魚の レシピを考えよう!! | 石見の魚の特色を 活かした調理方法を考える | レシピ作り おもひなしの仕方を考える |
| 第4回 | 子ども料理長の 石見のお魚食堂 | 家庭で石見の魚が 出てくる環境を作る | 調理する 親にあもてなされ ぶり返り |
| 第5回 | | | |
| 第6回 | | 流通に目を向ける。 | |
| 第7回 | | 石見の魚を 食べやあり環境と つけていく(流通) | |

研修第3日目（2月12日日曜日）

- 10:00 石見の海に関する学習プログラムを作ろう
(プロジェクトデザイン)
各グループのプレゼン
- 14:30 各グループの発表と企画練り直し
- 15:30 今後の取り組みについて

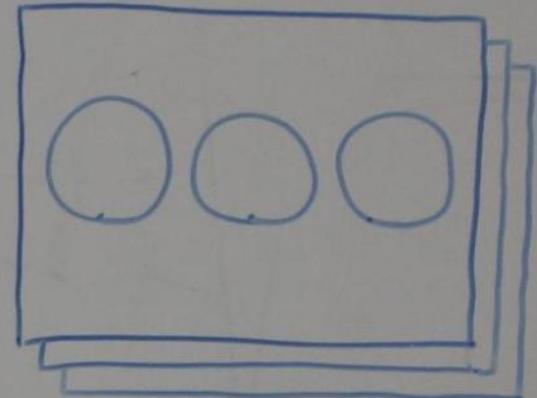
3日間のセッション終了

✿ 3日間の
シリアル・リモート

研修を通じての
学び・発見・気づき
etc.

ESDの
実践に向けて
あなた自身の課題は?

今後
どんなことから
取り組みますか?



これから

せっかくデザインしたプロジェクト、プログラムだけでも実践したい！

つながった人たちと、つながり続けたい！

どうしたら実践につなげられるか、みんなで相談しよう

所属先の事情、家庭の事情などもクリアして続けていける方法も含め
みんなの持っているアイテムを持ち寄って考えよう



研修会準備

- 平成28年 7月 ヒアリング①
- 8月 ヒアリング②
- 9月 実行委員会①
- 10月 ワーキンググループミーティング①
- 11月 しまね組ミーティング①
- ワーキンググループミーティング②
- 12月 ワーキンググループミーティング③
- 平成29年 1月 ワーキンググループミーティング④ (研修会事前打ち合わせ)
研修会1日目
研修会2日目
しまね組ミーティング②
- 2月 ワーキンググループミーティング⑤ (研修会事前打ち合わせ)
研修会3日目
実行委員会②

本研修会の企画から実施の中での学び

- ・研修会企画の場じたいが学びの場となった
「ESD」についてわずかながら理解できた
参加者に寄り添う丁寧な研修会のデザイン
- ・企画に地元のメンバーが入り、自分事として関わった

拠点施設としてのこれから

- ・周囲にどうアピールするか、多様な人々をどう取り込んでいくか
- ・今回形成されたネットワークが、どれだけ自主的に動いていくか
- ・関わった人が次どう支援に回れるか（来年度以降のデザイン）
- ・事業にとどまらず、展示などにもESDの視点が入ってくれば